

記者資料提供 (2021年9月29日)

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 安藤、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



City of Design  
KOBÉ

United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

Member of the UNESCO  
Creative Cities Network  
since 2008

# KIITO:

## 未来の社会を考える4日間のプログラム 「未来の屋台をミニチュアでつくろう！」参加者募集

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりイベントを開催いたしますのでご案内いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、神戸市が推進するこどもの創造的学びに関して、こどもに必要な学びの場、出会いの場を提供する総合的な学びのプラットフォームとして、今年度より「KIITO:300キャンプ」をスタートしました。

AI化が急速に進む中で、AIにできない〈新しいものを創造する力〉はますます必要になってきています。そのため〈創造力〉はこどもたちが身につけるスキルとしてとても重要です。「KIITO:300 キャンプ」では、常識にとらわれない新しい発想を生み出し、独創的なモノを創り出すために必要な2つのソウゾウリョク (想像力、創造力) を育むアートやデザインのプログラムを実践していきます。



この度、「KIITO:300 キャンプ」のプログラムとして、アーティストのさくまはなさんを講師に迎えた子ども向けの連続ワークショップ「未来の屋台をミニチュアでつくろう！」を開催します。さくまはなさんは、世界各地に存在する屋台に魅せられ、「屋台、それは ちっちゃな ちっちゃな社会のカタチ」をコンセプトにミニチュア屋台の作品を製作しています。

物の売り買いからサービスまで、私たちが日々生活する街の中には、さまざまなコミュニケーションが存在します。言葉などを通して気持ちや意思を相手に伝えるコミュニケーションという行為を知ることは、社会の成り立ちを知ることにつながります。

今回のワークショップでは、「屋台」をひとつの社会の縮図として捉え、豊かなコミュニケーションを生み出す場として様々な国や地域に根付いている屋台の歴史や種類、しくみを学び、子どもたちがイメージする「未来の屋台」を作ります。

また、完成した作品を集めた展覧会を開催し、子どもたちがギャラリーガイドとして作品紹介を行います。一連のプログラムを体験することで、自らの力で「みる・考える・話す・聞く」主体的な力を育み、子どもたち自身の学びを深めます。

### 【開催概要】未来の屋台をミニチュアでつくろう！

日時 | ①11月21日 (日) ②12月5日 (日) ③12月19日 (日) ④12月26日 (日) 各日 13:00~16:00

会場 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 3F KIITO:300

講師 | さくまはな (アーティスト)

参加 | 無料

定員 | 10名 (事前申込制、抽選) 対象 | 小学生3年生~中学3年生

お申込み | Webサイト (<https://kiito.jp>) で、9月29日 (水) 14:00より受付開始。10月31日 (日) まで。

抽選発表 | 11月3日 (水・祝) までにメールにてご連絡します。

主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当 住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

開館時間 | 9時~21時 休館日 | 月曜 (祝日または振替休日の場合はその翌日) Web | <https://kiito.jp/>

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開館時間やプログラムの内容が変更となる可能性があります。最新情報はWebサイトをご覧ください。

## 【スケジュール】

- ① 11月21日(日) 13:00~16:00 「屋台をかんさつしよう！」  
国内外の屋台の特徴や何のために使われているかを学んだあと、「未来の屋台」というテーマに沿って想像力を膨らませ、自分のイメージをアイデアスケッチに描き起こします。
- ② 12月5日(日) 13:00~16:00 「未来の屋台をつくろう!①」  
アイデアスケッチを基にして、自分の思い描く未来ではどんな目的で屋台が使われているのかを考えて、ミニチュア屋台を製作します。
- ③ 12月19日(日) 13:00~16:00 「未来の屋台をつくろう!②」  
ミニチュア屋台の仕上げをします。また、展覧会に必要な展示パネルや会場のしつらえを準備します。
- ④ 12月26日(日) 13:00~16:00 「未来の屋台を展示しよう!」  
子どもたちが製作したミニチュア屋台を集めた展覧会を開催します。  
初日には、ギャラリートークとして参加した子どもたちそれぞれが、作品をつくった経緯や見どころを紹介します。  
※展覧会の期間は別途ご案内予定です。

## 【講師プロフィール】



### さくま はな (アーティスト)

1993年に渡英し、2010年までロンドンを拠点にアート活動を行う。2006年、ロンドン芸術大学チェルシーカレッジ オブ アート アンド デザイン大学 博士号 (PhD Fine Art) 取得。2010年に帰国。現在、神戸芸術工科大学アート・クラフト学科教員。世界各地に存在する屋台に魅せられ、「屋台、それは ちっちゃな ちっちゃな社会のカタチ」をコンセプトにミニチュア屋台の制作を行っている。主なアート活動に、「瀬戸内国際芸術祭 沙弥島アートプロジェクト by 神戸芸術工科大学 (香川)」(共同2013・2016)、C.A.P. × 神戸芸術工科大学アート・クラフト学科交流プログラム (共同2021~)、個展「from one place to another メキシコ ベラクルス州立大学ギャラリー Galeria Ramón Alva de la Canal」(2019)、さくまはな個展 Gallery301 神戸 (2016・2017・2018) など。<https://www.hanasakuma.com/work/>

## 【KIITO:300 キャンプ】

**KIITO:**  
**300**  
キャンプ

子どもたちの好奇心と探求心を刺激し、創造性を育むプラットフォーム。  
子どもたちを対象に、クリエイターとともに考えたデザインやアートのワークショップやイベントを開催しています。また、こどもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーも開催し、大人と子どもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施します。

### 【開催時の注意】

- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容変更や中止となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ※参加希望のお子さまの保護者の方よりお申し込みください (代理でのお申し込みはご遠慮ください)。
- ※本イベントにおける記録写真・映像は、デザイン・クリエイティブセンター神戸、および神戸市の活動として、ウェブサイトや広報、報告書などに使用することがあります。ご了承のうえ、ご応募ご参加ください。